



Docking Station and Backup Solution for MacBook® Pro's **mDock®**

mDockをご購入いただきありがとうございます!

これで貴方はMacBook Pro (MBP)用ドッキングステーション兼バックアップソリューションのオーナーです。

貴方のデスクの上は見違えるほど整理整頓されるだけでなく、もう大事なデータのバックアップを忘れることもありません。また、デスクに戻ってくる度に色々なケーブルをMacBook Proへいちいち繋げる手間ももう必要ありません。永遠に。

mDockへようこそ!

詳細情報については <http://www.ask-corp.jp/inquiry/> から代理店までご連絡いただくか、
www.mlogic.com または <http://www.ask-corp.jp/products/mlogic> のウェブサイトをご覧ください。

mDockには2つのモデルがあります

13インチUnibodyMacBook Pro用...

mDock® for 13" MacBook Pro



上記の接続ポートレイアウトを持った、2009年半ば以降、現在販売中の13インチUnibodyMacBook Proとご使用になれます。

そして15インチUnibodyMacBook Pro用です。

mDock® for 15" MacBook Pro



上記の接続ポートレイアウトを持った、2009年半ば以降、現在販売中の15インチUnibodyMacBook Proとご使用になれます。

お手元のMacBook Proが上記の接続ポートレイアウトとマッチしていることをお確かめください。

注意：mDockはThunderboltポートを持った最新のMBPと互換性を持っていますが、Thunderboltインターフェースは、mDP (mini Display Port：ミニディスプレイポート) としてのみ使用出来ます。

MacBook Proの接続ポート配置について

MacBook ProのUnibodyは画期的なCNCプロセスで非常に精密に製造され、各接続ポート(USB、FireWire、等)がUnibody筐体の中に奥まって収まる洗練されたデザインになっています。しかし、各ポートの位置は、製造プロセスのばらつきや日常の使用中に受けたダメージ等によって、ほんの少し違っている場合があります。非常に希なことですが、これら接続ポート位置のばらつきが、mDockをスムーズに接続する妨げとなることがあります。

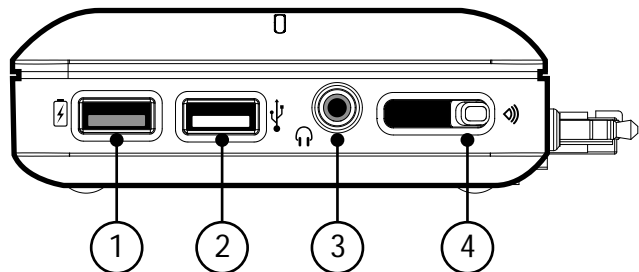
mDockがMacBook Proの側面にスムーズに接続できない場合、**絶対に無理に押し込まないように**してください。ダメージに繋がります。接続位置を調整してもうまく装着できない場合は、下記のカスタマサポートまでご連絡ください。

お問い合わせ

TEL : 03-5215-5652 FAX : 03-5215-5651 メール : info@ask-corp.co.jp

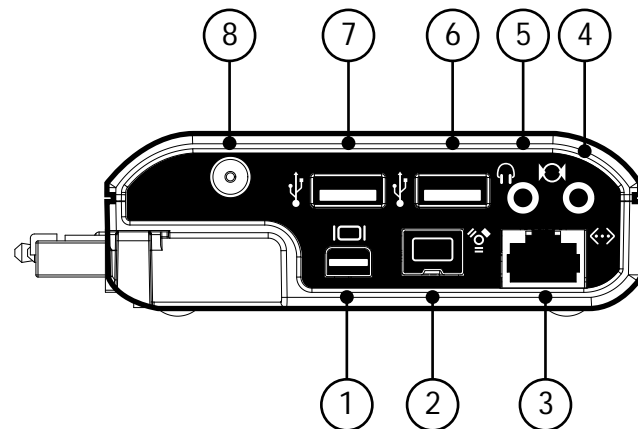
mDock主要部分

前面



- ① USBチャージ用ポート
- ② USBポート
- ③ オーディオ出力
- ④ オーディオセクタレバー
(このレバーはMacBook Proのステレオヘッドホン端子への接続をON/OFFします。ヘッドホンを使用する場合はレバーを右へ、ヘッドホンを使わずにMacBook Pro本体内蔵のスピーカーを使用する場合は左へスライドしてください。)

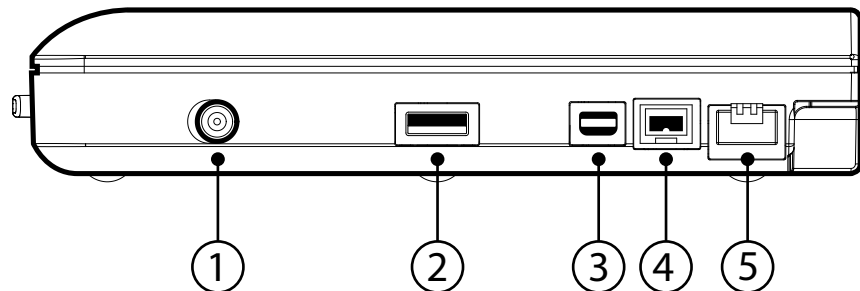
- ① mDP (mini Display Port: ミニディスプレイポート)
- ② FireWire 800ポート
- ③ ギガビットEthernetポート
- ④ オーディオ入力 (mDock-15のみ)
- ⑤ オーディオ出力
- ⑥ USBポート
- ⑦ USBポート
- ⑧ 電源ポート



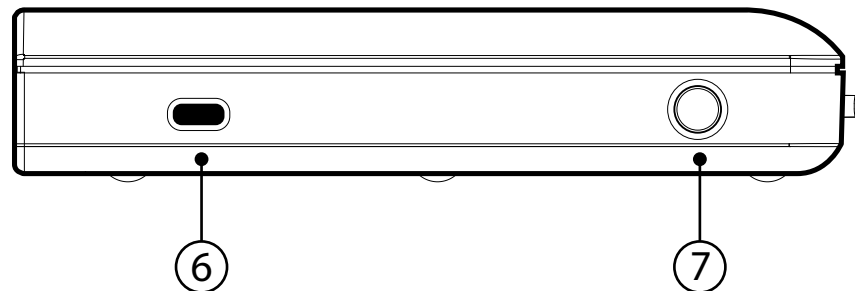
背面

mDock主要部分

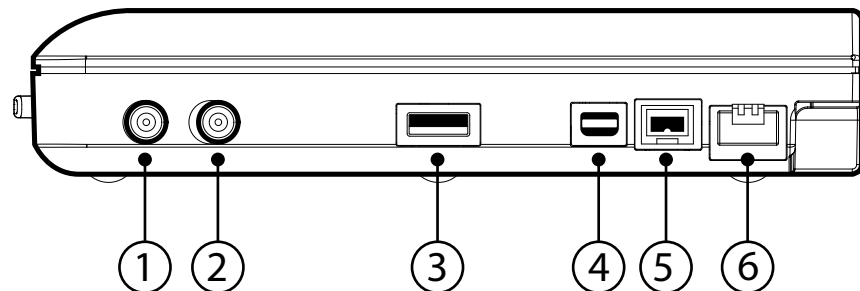
mDock 13インチ 側面



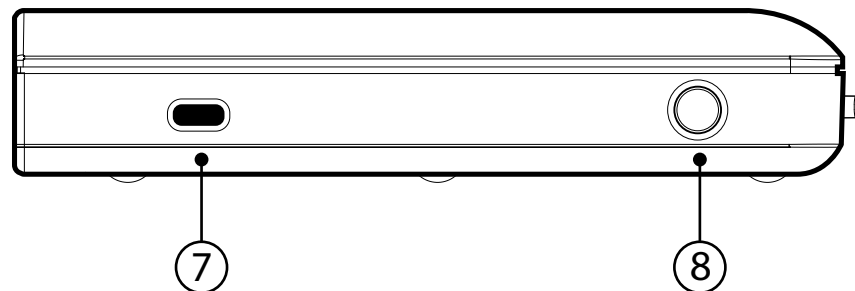
- ① オーディオ出力
- ② USBポート
- ③ Mini Display Port
- ④ FireWire 800ポート
- ⑤ Ethernet ポート
- ⑥ ロックスロット
- ⑦ オン・オフスイッチ



mDock 15インチ 側面



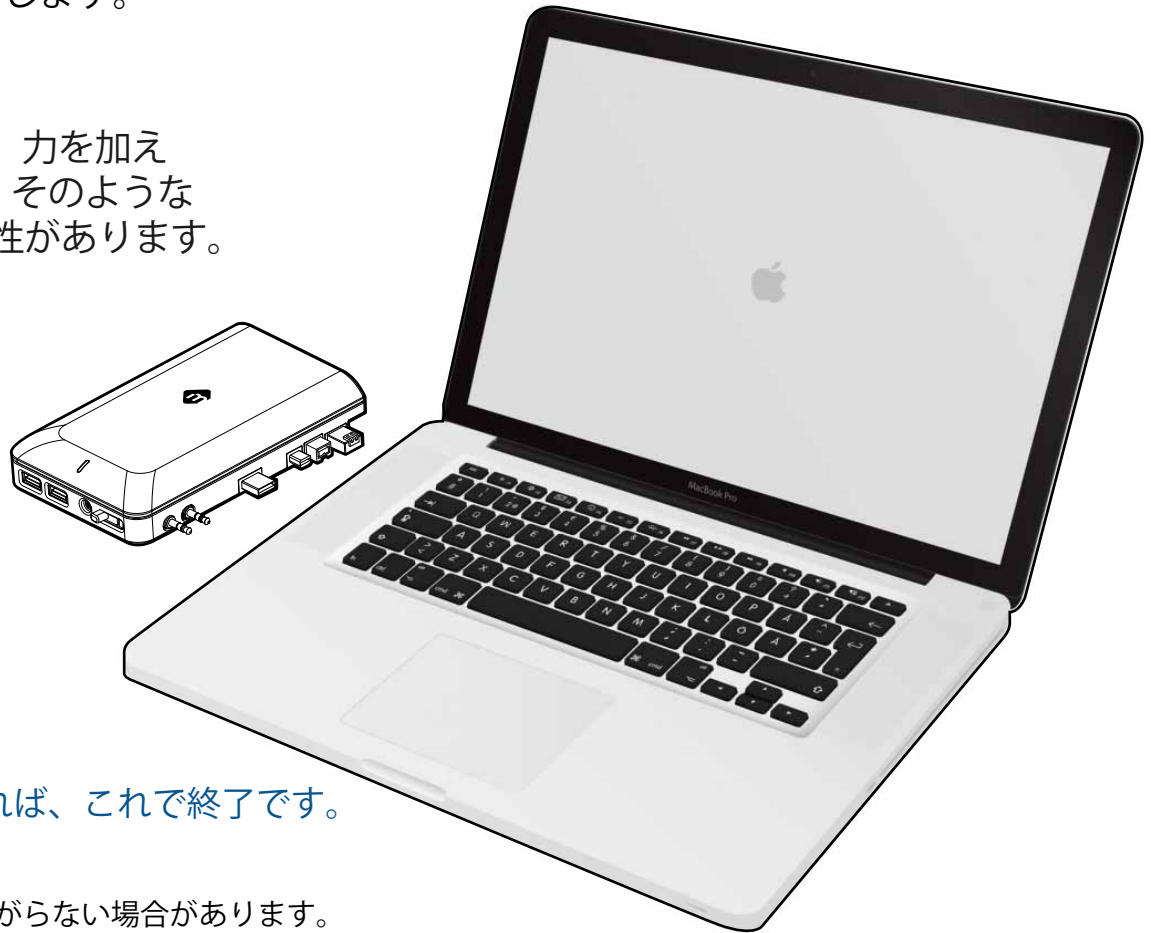
- ① オーディオ出力
- ② オーディオ入力
- ③ USBポート
- ④ Mini Display Port
- ⑤ FireWire 800ポート
- ⑥ Ethernet ポート
- ⑦ ロックスロット
- ⑧ オン・オフスイッチ



mDockはMacBook Proに簡単かつ迅速にドッキングできます

MacBook Proを平面に置き、mDockのコネクターとMacBook Proのポートとが正しく向き合っていることを確かめながら、MacBook Proの各ポートにmDockのコネクターが確実に差し込まれるまでmDockをMacBook Proに向かってスライドします。

mDockをMacBook Proに差し込む際、力を加えすぎないように注意してください。そのような場合はMacBook Proを破損する可能性があります。



スムーズにmDockがドッキングできれば、これで終了です。

まれにmDockがスムーズにMacBook Proに繋がらない場合があります。この様な場合は同梱のスペーサーを使用して調整を行います。調整の詳細については8ページにある手順を参照してください。

mDockへ全ての周辺機器を接続しましょう

mDockをMacBook Proへドッキングし終わったら、今度は周辺機器（Ethernetネットワーク、モニター、スピーカー、ハードディスクドライブ等）をmDockの背面ポートへ接続する番です。もうこれからは急いでミーティングへ走って行かなければならない様な場面でも、ケーブルと格闘することはないでしょう。

mDockをパワーオン

ステップ 1

パワーアダプターの端子をmDock背面のパワーポートへ差し込み、パワーアダプターを電源へ繋がせます。

ステップ 2

mDockの側面にあるボタンを押してmDockをパワーオンします。mDockに内蔵されたバックアップ用ハードディスクドライブは自動的にMacのデスクトップへマウントします。

Time Machineを使いますか？

mDockをドッキングする度にTime Machineを使ってMacBook Proのファイルをバックアップする場合はこのリンクを御覧ください：

http://support.apple.com/kb/HT1427?viewlocale=ja_JP

外出ですか？mDockを取り外しましょう。

ステップ 1

mDock内蔵ハードディスクのアイコンをゴミ箱へドラッグ&ドロップして、MacBook Proのデスクトップからアンマウントします。（10ページで紹介するunDockアプリを使用することも可能です。）

ステップ 2

パワーボタンを3秒間長押ししてmDockをパワーオフします。

ステップ 3

MacBook ProからゆっくりmDockをスライドさせて抜き取ります。

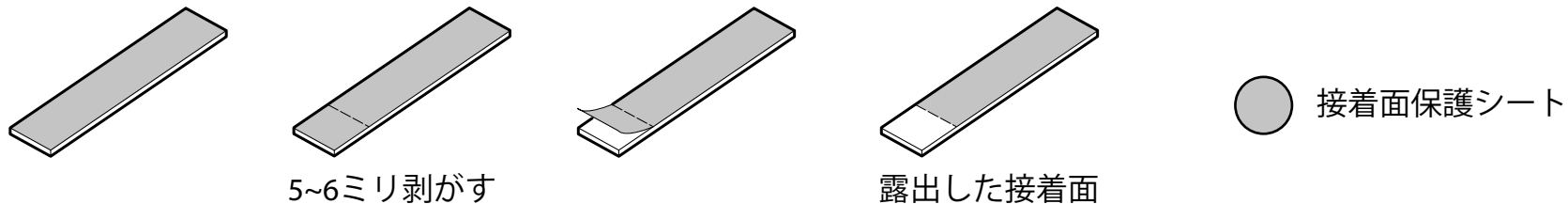
注意：mDockはMacBook Proに接続していなくてもUSB充電ステーションとして機能します。mDockをパワーオンすれば前面のUSB充電用ポートでiPad等のiOSデバイスを充電することができます。

では、mDockをお楽しみください！

もしもmDockをスムーズにMacBook Proへドッキング出来ない場合は下記の手順で調整してください。

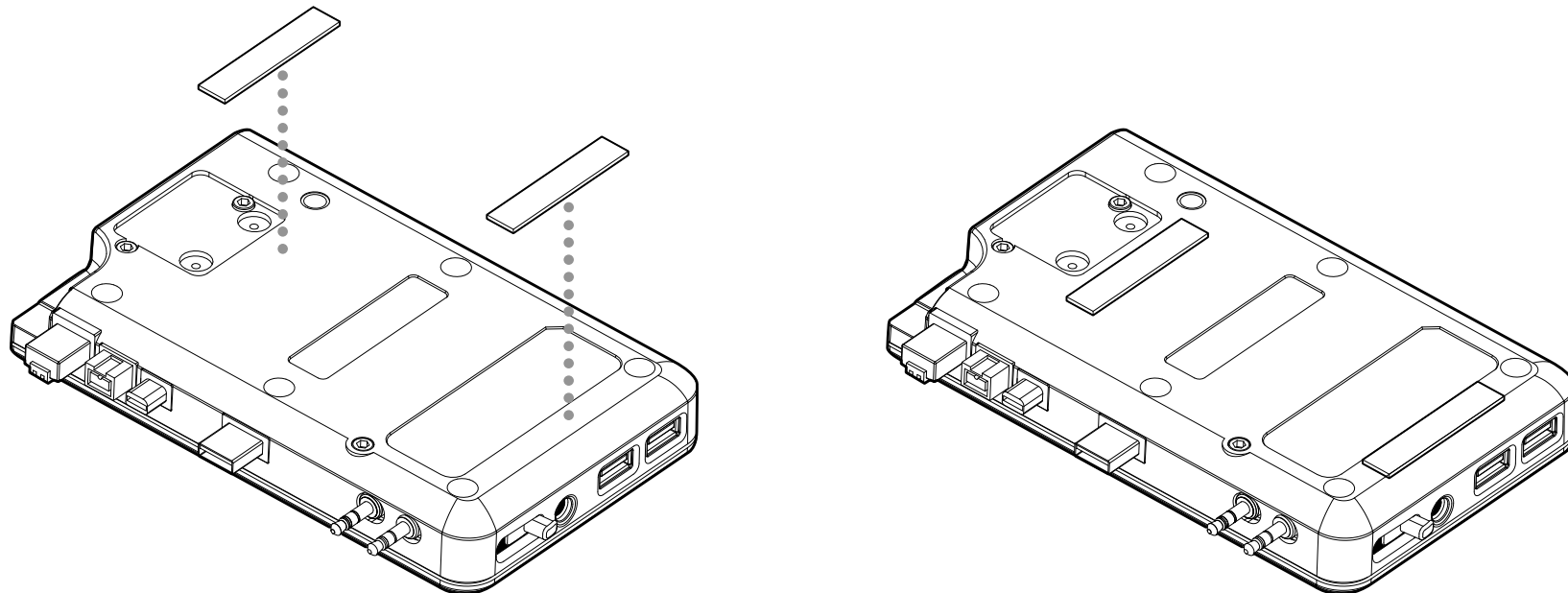
ステップ1

同梱されている青色のスペーサーを取り出し、接着面を覆っている保護シートを5~6ミリ剥がして接着面が見えるようにしてください。



ステップ2

mDockをひっくり返して図のように青色のスペーサーをmDockの底に取り付けます。



ステップ3

mDockとMacBook Proを平面に置き、mDockのコネクターとMacBook Proのポートとが正しく向き合っていることを確かめながら、MacBook Proの各ポートにmDockのコネクターが確実に差し込まれるまでmDockをMacBook Proに向かってスライドします。スムーズにドッキングができればステップ4へ、スムーズにドッキングができなかった場合はステップ5へ進んでください。

ステップ4

スペーサーの接着面保護シートを全て取り除いてスペーサーをmDockの底に押しつけて接着します。これで調整終了です。

ステップ5

同梱されているオレンジ色のスペーサーを取り出し、ステップ2と3を繰り返してください。まだスムーズにドッキングできない場合、緑色、そして黄色のスペーサーで繰り返してください。同梱のスペーサーを全て試してもスムーズにドッキングが出来ない場合は代理店までご連絡ください。

カスタマサポート お問い合わせ

TEL : 03-5215-5652 FAX : 03-5215-5651 メール : info@ask-corp.co.jp URL : <http://www.ask-corp.jp/inquiry/>

mDockと一緒に使うと非常に便利なアプリがあります。
UnDockと言うアプリで、アップルApp Storeでご購入頂けます。

Time Machineは便利ですが、モバイルユーザーには頭痛の種になることがあります。バックアップが終了するまで待たなければならなかったり、バックアップをキャンセルしても実際に接続が切れるようになるまで時間がかかったりするからです。UnDockはシンプルでかつ重要な、「全て取り出す」("Eject All") 機能をMacに追加します。

- 1 メニューバーに表示をして使用するか、バックグラウンドプロセスとして使用できます。
- 2 クリック1つ、またはキー操作で全てのリムーバブルドライブを取り出せます。
- 3 バックアップの途中の場合、Time Machineをクリーンな状態でキャンセルします。
- 4 同時に任意のアップルスクリプトをトリガーできます。

UnDockはFlyingPaperSoftware.comの製品で、mLogic LLCはその機能を保障するものではありませんし、その使用によって問題があったとしてもその責任を負うものではありません。